

濃尾大橋【木曽川】
(昭和 29 年撮影)



濃尾大橋【木曽川】
(令和 2 年撮影)

第 1 章 一宮市の景観特性

1 一宮市の成り立ち	6
2 一宮市の地勢・土地利用	6
3 一宮市の景観特性	8
4 一宮市のランドマーク	10
5 景観形成上の課題	12
6 景観計画策定の視点	13



第1章 一宮市の景観特性

1 一宮市の成り立ち

一宮市の中心地区は、尾張国の「一の宮」（国司がその国で最初に参拝する神社）である真清田神社の門前町として平安時代から栄え、市の名もこれにちなんでいます。

大正10年9月1日に一宮市として市制施行し、昭和15年・30年と2度の近隣町村との合併を経て市域を拡大したのち、平成14年4月には特例市に移行しました。平成17年4月1日に一宮市、尾西市及び木曽川町が合併し、現在の市域形成に至っています。また、令和3年4月1日に中核市に移行しました。

2 一宮市の地勢・土地利用

○一宮市の位置

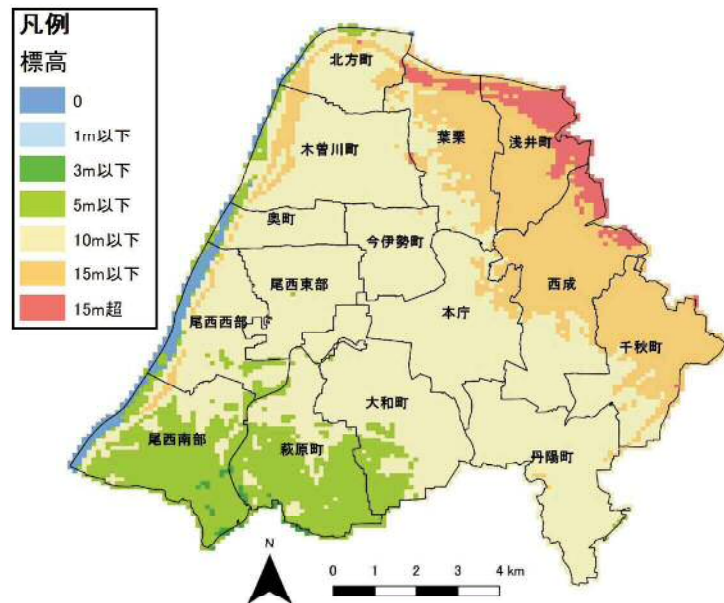
本市は、岐阜県との県境に位置し、名古屋市中心部（名古屋駅）から北西に約20kmの位置にあり、面積は113.82km²で、愛知県全体の面積の約2.2%を占め、県内市町村で12番目の広さとなっています。



一宮市の位置

○一宮市の地形

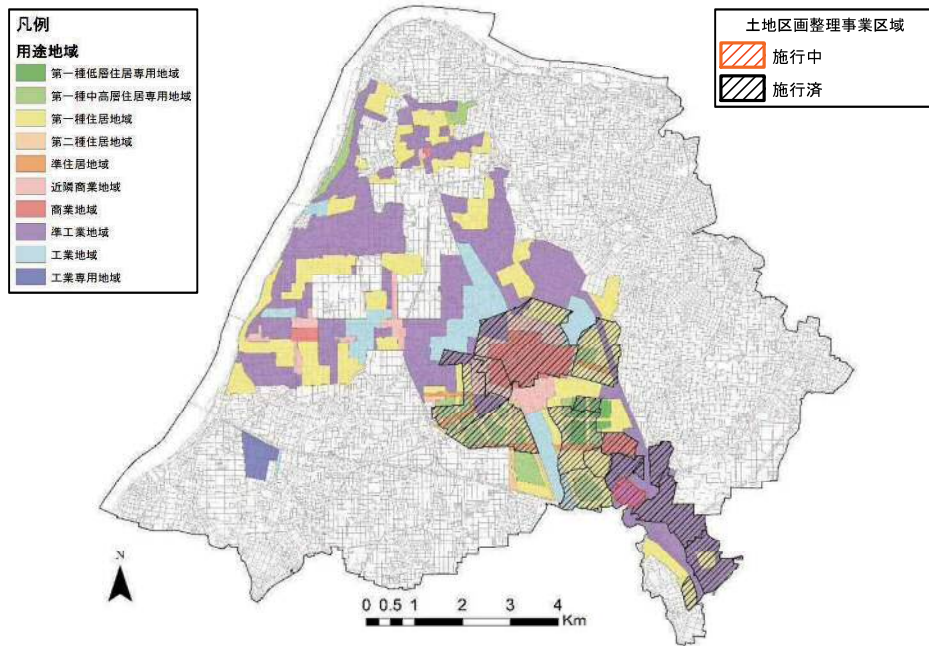
濃尾平野中央部に位置し、木曽川を挟んで岐阜県と接しています。木曽川沖積平野の低地であることから、高低差が少ない平坦地により構成されており、全体としては北東から南西方向への緩傾斜であり、ほぼ平坦な印象です。その一方、木曽川堤防付近における斜面地、そして市内に数多く流れる河川、旧河道と自然堤防等、微地形としての起伏は多くみられます。



一宮市の地形

資料：国勢調査、国土数値情報
※東京湾の平均海面を基準（標高0m）

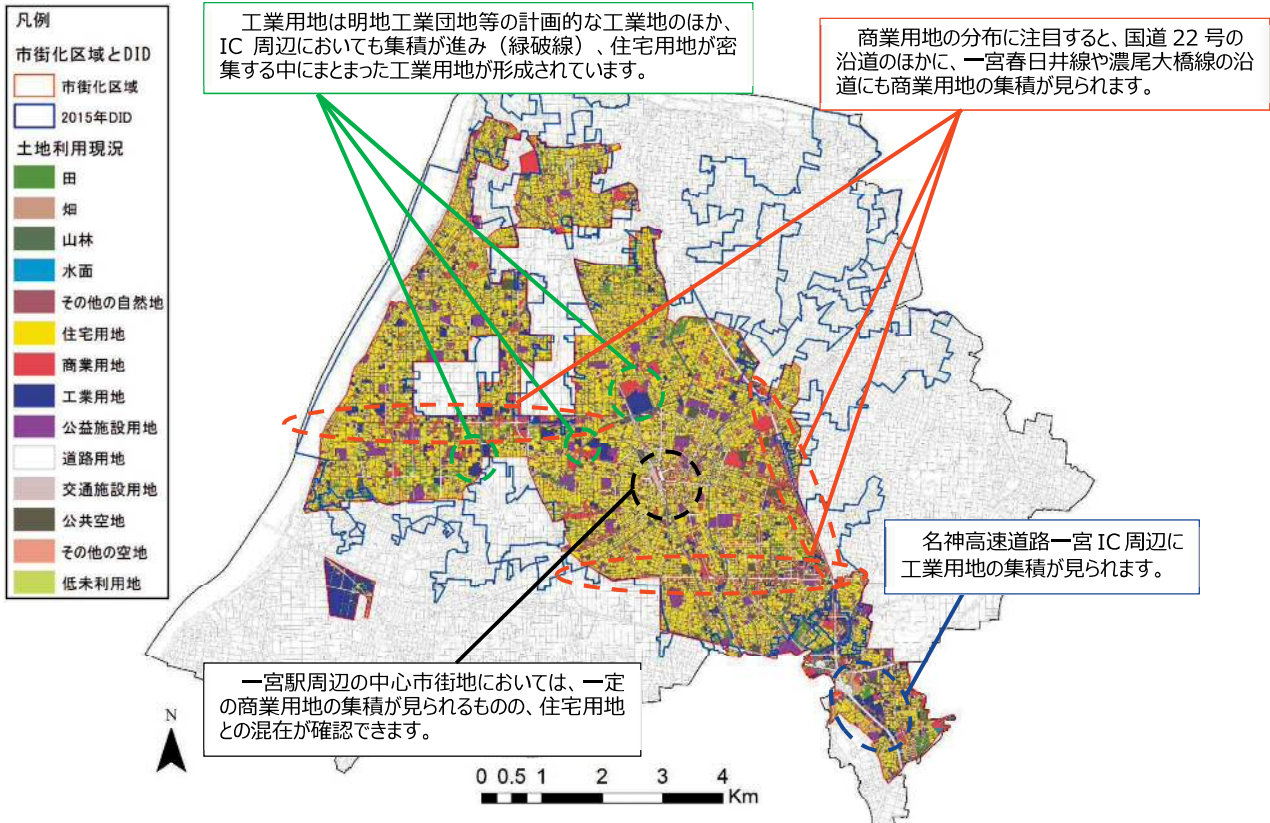
○用途地域及び土地区画整理事業



用途地域は、準工業地域が 42.5%とすべての用途地域の中で最も高い割合を占めています。準工業地域は、住宅と工場が混在し、景観が悪化することが懸念されます。また、工業系用途地域と住居系用途地域が隣接して存在するなど用途混在の用途地域が設定されていることが本市の特徴です。

本市の南部にて複数の土地区画整理事業が行われ、良好な居住環境を持つ住宅地が形成されています。

○土地利用現況

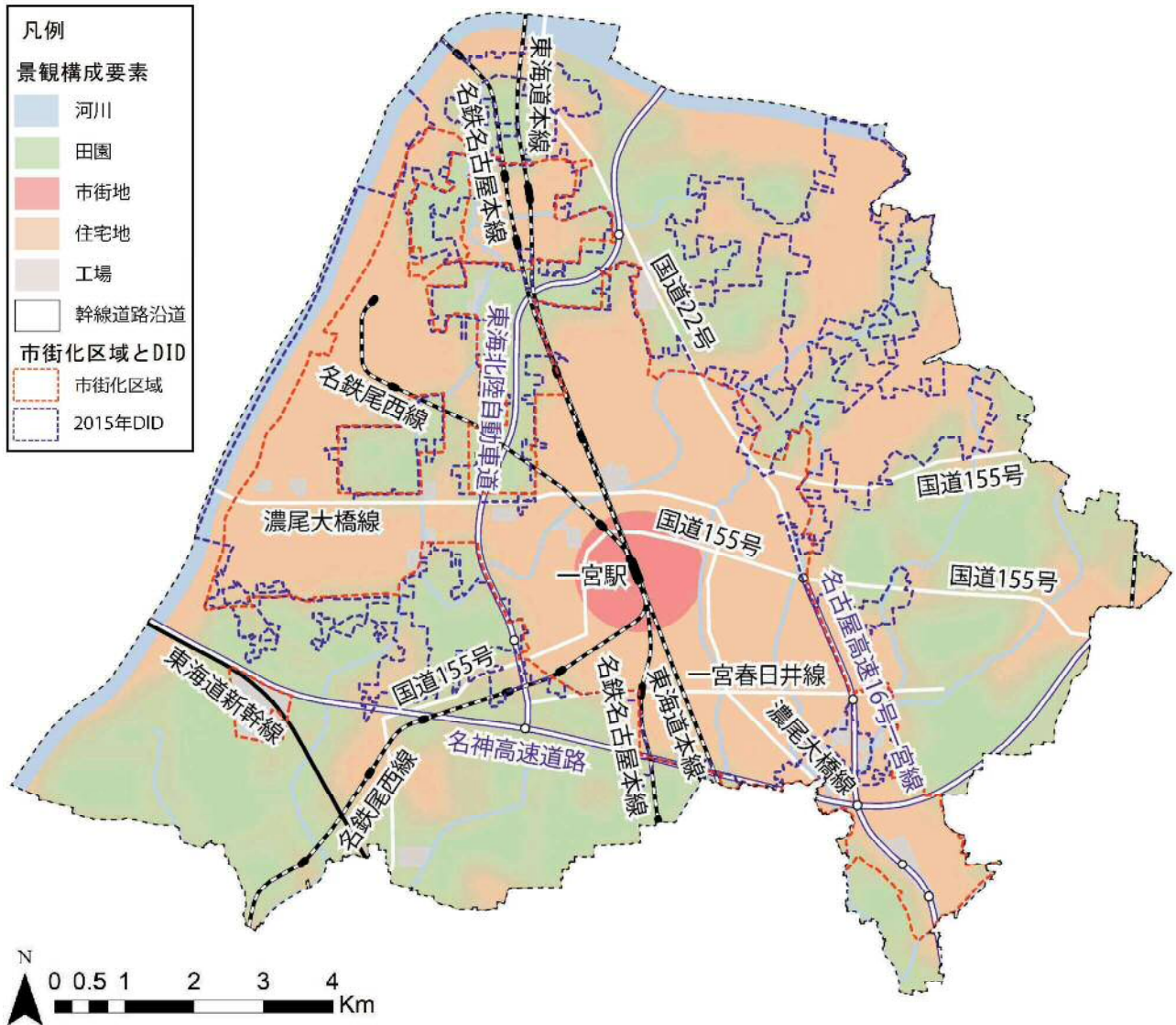


市街化区域の9割以上において都市的土地利用がなされ、住宅用地の占める面積が最も多くなっています。

3 一宮市の景観特性

本市の成り立ちや土地利用現況を踏まえると、「河川」、「田園」、「市街地」、「住宅地」、「工場」、「幹線道路沿道」の6つに景観構成要素を分類することができます。

区分	主な景観資源
河川	木曽川、ツインアーチ 138、大野極楽寺公園、市内の中小河川
田園	島畑、エコハウス 138
市街地	真清田神社、尾張一宮駅前ビル（i-ビル）、シンボルロード、本町商店街アーケード
住宅地	起宿、多加木緑道、萩原宿、繊維産業工場群
工場	明地工業専用地域、萩原工業団地
幹線道路沿道	国道 22 号、国道 155 号



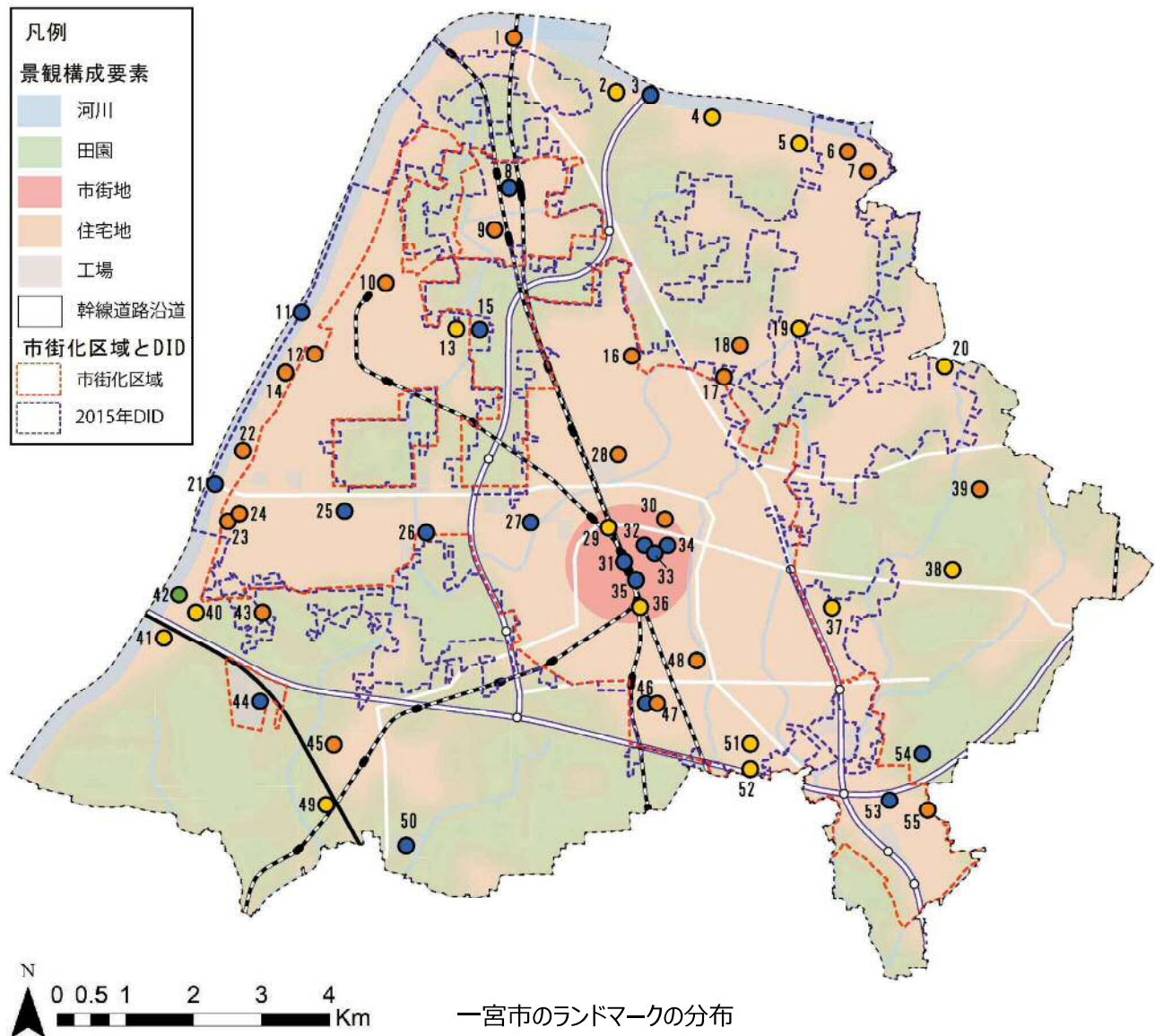
<p style="text-align: center;">河川</p>	<p>木曽川をはじめ、日光川や青木川といった河川や水路のある風景が数多く見られます。木曽川沿いには、国営木曽三川公園 138タワーパークや、木曽川緑地公園などの規模の大きい公園が立地しています。</p> <p style="text-align: right;">左：葉栗の木曽川沿川 右：尾濃大橋付近</p>		
<p style="text-align: center;">田園</p>	<p>市街化調整区域内においては、集落と田園が混ざり合った景観が形成されています。一部農地においては、比較的大規模な太陽光発電システムが設置されています。</p> <p style="text-align: right;">左：葉栗の田園 右：大和町の田園</p>		
<p style="text-align: center;">市街地</p>	<p>一宮駅周辺を起点とした銀座通りや、真清田神社を起点とした本町商店街アーケードなど、本市を代表するランドマークを中心とした一宮市の顔となる景観が形成されています。</p> <p style="text-align: right;">左：一宮駅周辺 右：市本庁舎からみた一宮駅周辺</p>		
<p style="text-align: center;">住宅地</p>	<p>起地区や萩原地区といった古い町並みの他、区画整理事業が行われた住宅地が見られます。古くから、本市を代表する繊維産業に由来するのこぎり屋根を持つ建築物が点在しています。</p> <p style="text-align: right;">左：三条の住宅地 右：奥町の住宅地</p>		
<p style="text-align: center;">工場</p>	<p>明地工業専用地域や萩原工業団地など計画的な工業地が見られるほか、本市内を通る高速道路の IC 付近においては新たな工場の進出による、住宅と工場の混在も見られます。</p> <p style="text-align: right;">左：名神高速道路一宮 IC 付近 右：明地工業専用地域</p>		
<p style="text-align: center;">幹線道路沿道</p>	<p>国道 22 号や国道 155 号、一宮 IC 周辺といった主要な幹線道路周辺には多くの商業施設が立地するほか、素材や大きさなど様々な形態の屋外広告物が多数設置されています。</p> <p style="text-align: right;">左：常願通 7 丁目交差点付近 右：北方町交差点付近</p>		

4 一宮市のランドマーク

本市には、一宮駅周辺の真清田神社や尾張一宮駅前ビル（i-ビル）、市内に数多くみられる「のこぎり屋根」が特徴の繊維産業工場群、本市の北西を流れる木曽川にほど近い場所に建つツインアーチ138といった特徴的なランドマークが多数存在します。それらランドマークを、「自然景観」「歴史景観」「生活景観」「産業景観」に区分し、整理しました。

自然景観	①地形 ②里山・奥山 ③河川 ④湖沼・ため池 ⑤海岸・海・干潟
歴史景観	①旧街道 ②歴史的なまちなみ ③文化財 ④近代化遺産
生活景観	①住まい・住宅地 ②公園・緑地・広場 ③農地・漁港 ④伝統行事
産業景観	①道路・鉄道 ②駅・港・空港 ③商業系 ④事務所系 ⑤工場系 ⑥伝統・地場産業 ⑦農業系

（資料：「美しい愛知づくり基本方針」4つの景観構成要素）



1 北方代官所跡



2 光明寺公園



3 ハーモニーブリッジ



4 ツインアーチ138



5 大野極楽寺公園



6 人麿塚



7 浅井古墳群(毛無塚古墳)



8 レンガ倉庫



9 木曾川資料館



10 賀茂神社



11 尾濃大橋



12 若宮神明社



13 奥町公園



14 伊勢神宮遷拜所



15 エコハウス138



16 石刀神社(今伊勢町馬寄)



17 蓮浄寺



18 坂手神社



19 浅井山公園



20 一宮地域文化広場



21 濃尾大橋



22 起渡船場跡



23 起商店街



24 起宿



25 一宮市役所尾西庁舎



26 野府川沿いの工場



27 ファッションデザインセンター



28 酒見神社



29 稲荷公園



30 真清田神社



31 尾張一宮駅前ビル (i-ビル)



32 シンボルロード



33 本町商店街アーケード



34 一宮市役所



35 Re-Tailビル



36 梅ヶ枝公園



37 浅野公園



38 一宮総合運動場



39 浮野古戦場跡



40 尾西グリーンプラザ



41 富田山公園



42 木曾川尾西緑地



43 富田一里塚



44 明地工業専用地域



45 萩原宿



46 一宮市博物館



47 妙興寺



48 照手姫袖掛け松



49 萬葉公園



50 萩原工業団地



51 多加木緑道



52 多加木公園



53 ガスタク



54 島畑



55 稲荷山古墳



5 景観形成上の課題

これまでに整理した上位関連計画や本市の景観特性をふまえ、本市における景観形成上の課題を「美しい愛知づくり基本方針」の4つの景観特性（自然景観、歴史景観、生活景観、産業景観）に整理します。

【4つの特性の課題】

自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ○木曽川の保全と景観性向上のための整備 ○水と緑のネットワークの維持 ○社寺林の保全
歴史景観	<ul style="list-style-type: none"> ○景観上重要な建造物・樹木の保存と活用 ○真清田神社の眺望景観の保全 ○旧街道筋のまちなみ保全
生活景観	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な住宅地景観の形成
産業景観	<ul style="list-style-type: none"> ○一宮駅周辺「市の玄関口」としての景観形成 ○産業集積地の景観形成 ○田園景観の保全 ○幹線道路沿いの屋外広告物の整序

【4つの特性で区分できない共通の項目】

【景観誘導のルール化】

- 建築物や広告物のルール設定
- 屋外広告物のデザイン等の統一性や適正管理
- 幹線道路沿道の屋外広告物のコントロール、沿道景観形成

【協働の仕組みづくり】

- 支援の強化による市民協働の推進
- 「不法投棄やポイ捨てゴミ」、「管理されていない農地・空き地」の解消

6 景観計画策定の視点

これまでの景観施策から継承すべき視点に加え、これからの景観づくりに向けた新たな視点を踏まえ、景観計画策定の視点とします。

特性		視点	説明
継承すべき視点	自然景観	自然環境を活かした景観づくり	木曾川をはじめ、水と緑のネットワーク等、自然環境の恩恵を活かした風景
	歴史景観	歴史資源を活かした景観づくり	真清田神社、旧街道筋に残る歴史資源を活かした風景
	生活景観	「親しみ、落ち着き」の感じられる景観づくり	意向調査結果に基づき、快適に住み、働くことができる環境の形成
新たな視点	産業景観	中心市街地の再構築に向けた景観づくり	歩きたくなる「中心市街地の再整備」に向けた方向性が求められている
	共通事項	メリハリの効いた景観づくり	市全体の将来像「落ち着く」、一方、銀座通りには「にぎやか」が共存する、「メリハリの効いた景観」が求められている

市役所本庁舎より北西のパノラマ写真



